

2026 皇后杯 JFA 第 48 回全日本女子サッカー選手権大会山梨大会 実施要項 (案)

- 1 主 旨 山梨県内における女子サッカー技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学 1 年生以上の登録選手を対象とした単独チームによる大会として実施する。
- 2 主 催 (一社)山梨県サッカー協会
- 3 主 管 (一社)山梨県サッカー協会女子委員会
- 4 期 日 2026 年 5 月 23 日(土)・5 月 30 日(土)・6 月 13 日(土) 《6 月 20 日(土)【予備日】》
- 5 会 場 5/23 押原公園人工芝 G (借用時間 8:00~17:00)
5/30 YSKe-com シルクパーク (借用時間 8:00~17:00)
6/13 押原公園人工芝 G (借用時間 10:30~17:00)
6/20 YSKe-com シルクパーク (借用時間 8:00~17:00)

6 参加資格

- ① 参加チーム・選手は(公財)日本サッカー協会 (以下 JFA という) に「女子」の種別で登録していること。
- ② 2014 年(平成 26 年)4 月 1 日以前に生まれた女子選手。参加申込締切日までに JFA に登録 (追加登録も含む) されていること。小学生は出場できない。また、中学生以下の選手だけの大会参加申込は不可とする。

③ クラブ申請制度の適用

JFA により「クラブ申請」を承認された「クラブ」内のチームに所属する選手 (複数人可) については、所属チームから移籍することなく、上記 I のチームで参加することができる。ただし、参加する選手については以下のすべてを満たしていること。

- (1) 上記 II を満たしていること。
- (2) 下記種別区分のチームに所属していること。

参加チームの種別区分	同一「クラブ」内のチーム登録種別区分
なでしこリーグ・一般・大学	高校・クラブ(高校生)・中学・クラブ(中学生)・(男子)2種・(男子)3種
高校・クラブ(高校生)	中学・クラブ(中学生)・(男子)3種

- ④ 外国籍選手は 5 名まで登録でき、1 試合 3 名まで出場できる。
- ⑤ 上位大会に向けて他のチームで出場 (参加申込) していないこと。
- ⑥ 試合会場に登録選手証(写真付)を持参しない選手は出場できない。また、電子登録証 (写真が登録されたもの) が確認できる場合は出場を認めるものとする。(追加登録業務は、参加申込締切日まで可能とする。)

【登録選手証とは (公財) 日本サッカー協会 Web 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧をさす】

7 競技方法

- ① ノックアウト方式で行う。(3位決定戦は行わない)
- ② 試合時間は80分としハーフタイムのインターバルは10分とする。勝敗が決定しない場合は、1回戦から準決勝戦まではPK方式により勝敗を決定し、決勝戦は20分間の延長戦を行い、それでも決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分程度、PK方式に入る前のインターバルは1分程度とする。
- ③ 本大会の優勝チームは、皇后杯JFA第48回全日本女子サッカー選手権大会関東予選へ山梨県代表チームとして出場する。

8 競技規則

- ① 当該年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」に準ずる。
- ② 選手交代は各試合開始前に登録された最大限9名までの選手を主審に通告しておき、そのうち5名まで主審の許可を得て交代することができる。交代時には交代用紙を提出する。(再交代制度は適用しない)試合が途切れる回数を減らすため、試合中の交代は、各チーム最大3回とする。(ハーフタイムの交代は回数に含まない)また、延長戦になった場合、さらに1名の交代を行うことができる。(直前の80分間と合わせて最大6名の交代が可能となる)
- ③ 脳震盪あるいはその疑いがある場合による交代(再出場なし)は、チームの申し出により「脳震盪による交代」を認める。その場合、上記②に定める交代人数に含まれない。ただし、人数は1名に限るものとする。なお、チームが「脳震盪による交代」を行った場合、相手チームは1回の「追加の交代」の機会を得る。この追加の交代回数は「追加の交代要員」のためにのみ使うことができ「通常の交代要員」には使うことができない。
- ④ ベンチに入ることの出来る人数は15名以内とする。(交代要員9名、役員6名)
- ⑤ テクニカルエリアを設置する。
- ⑥ 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。それ以降の処置については、大会の規律委員会で決定する。
- ⑦ 本大会期間中、警告を2回与えられた選手は次の1試合に出場できない。
- ⑧ 大会試合球は5号検定球とする。(各チーム持ち寄りとする)
- ⑨ 上位2チームを次年度の皇后杯JFA全日本女子サッカー選手権大会山梨大会のシードとする。また、関東女子リーグ・関東女子U-18リーグに出場しているチームもシードとする。
- ⑩ 審判は、有資格者とする。
- ⑪ 負傷者の対応は、主審が認めた場合のみ、最大2名がピッチへの入場を許可される。
- ⑫ メンバー表提出後からキックオフまでの間における選手変更は、W-up・練習中の負傷または急病等、やむを得ない事情があり、かつ主審の承諾を得た場合に限られる。先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、GKについては例外として認める。また、控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。ただし、補充する選手は出場チームが参加申し込みをした中からとする。

8 ユニフォーム

- ① 本大会に登録した「正」のほかに明確に異なる色の「副」のユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)を持参し、いずれかを着用しなければならない。

- ② (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。なお、広告表示は上記規定に基づき承認された場合のみこれを認める。
- ③ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ④ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ・ショーツ・ソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
- ⑤ ユニフォームの前面・背面に参加申し込みの際に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。
- ⑥ 参加申込書提出後のユニフォームの色、選手番号の変更は認めない。
- ⑦ ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
- ⑧ チームキャプテンはアームバンドを着用しなければならない。そのアームバンドには「Captain」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字を入れることができるが、単色でなければならない。

9 大会参加申込

- ① 1 チームあたり役員 6 名、選手数は上限なしとし、参加申込した選手の中から各試合メンバー用紙提出時に選手最大 20 名を選出する。
- ② 申込期限：2026 年 5 月 19 日(火) 21:00 まで（メールにて）
- ③ 申込先：(一社)山梨県サッカー協会女子委員会 委員長 白井茂樹
- ④ 参加申込締切以降、選手の変更は認めない。ただし、役員の変更は可能とする。

10 マッチコーディネーションミーティング

- ① 本部席において試合開始 60 分前に行う。
- ② メンバー提出用紙(4 枚)を持参すること。(ユニフォームカラー未記入、監督署名のこと)
- ③ 出場選手の登録選手証を持参すること。
- ④ ユニフォーム正副一式を持参すること。

11 参加料

出場チームに追って連絡します

12 備考

- ・大会要項に規定されていない事項については女子委員会において協議決定する。
- ・暑熱下の場合、JFA 熱中症対策ガイドラインに則り、WBGT 値に基づき対応する。
- ・有観客試合とする。
- ・ベンチはトーナメント表の組合せの通り。(組み合わせ番号の早いチームが左側ベンチ)
- ・W-up はグラウンド使用可とする。
- ・先発選手はキックオフ 7 分前に用具チェックのために本部前へ集合する。
- ・試合中の控え選手の W-up はボール使用不可とし、異色のビブスを着用のうえ、ベンチ外側（本部と逆側）とする。